

## 日本体験学習研究会 第16回全国大会のご案内

幅

大会スローガン決定！！

### 多様な分野に活かせる 体験学習の可能性

幅

幅

今年の梅雨は、じめじめの梅雨空よりも、激しい雨風に見舞われた地域やラッセル車が必要なほどヒョウが激しく降り積もった地域もあったようです。日本の社会状況も景気が上向いているといったニュースの陰で不穏な雲行きを感じてしまう今日この頃です。不気味な予感を感じさせる最近の天候や社会状況ですが、みなさまはいかがおすごしでしょうか？

さて、日本体験学習研究会も第16回全国大会を本年12月6日（土）・7日（日）に迎えることとなり、先日、その準備のための委員会が開催されました。運営委員会には新しいメンバーも加わり、気持ち新たに一回目の会合を行い、かなりの時間をかけて、今年の大会にかける思いを言葉にしたスローガンを決定しました。みなさま一人ひとりにも参加を促すメッセージになれば幸いです。

#### 「多様な分野に活かせる体験学習の可能性」

このスローガンに決まるまでには、みなさまの参加への気持ちを少しでも動かすことができればと、「きっと景色が変わる ～そうだ 体験学習に行こう!!～」とか、体験学習の広がりや可能性を表す端的な言葉として「幅」にしよう、などとさまざまなアイデアが出されました。その中で、私たちが1999年の第1回全国大会スタート時に考えていた、「さまざまな領域で体験学習がすでに実践されていて、その実践されている人々が相互交流できる場を創ろう」という思いを大切にすることにしました。

学校教育と体験学習、看護・医療と体験学習、環境教育と体験学習、国際教育と体験学習、組織開発と体験学習、人間関係づくりと体験学習、福祉と体験学習など、多くの分野ですでに活用されている体験学習、そしてその実践者のみなさんとお会いしたいという願いを込めて、本大会のスローガンを決定しました。

ご参加はもちろんのこと、みなさま方が活動されている領域で実践していることをエクササイズ・セッションで、また活動した内容をレポート・セッションで、お伝え下さい。ともに学び合う楽しみ・よろこびの場を参加者のみなさんと一緒に創っていきたいと考えています。

ご参加を心よりお待ちしております。

2014年7月9日

大会運営責任者

津村 俊充

# 日本体験学習研究会 第16回全国大会 実施要領

この第1号通信では、日本体験学習研究会全国大会の概略をお知らせすると同時に、【体験学習】の実践と研究の発表の募集をいたします。本大会は、体験学習に関心をおもちの方でしたらどなたでも、発表および参加をしていただけます。

1. 日 時            2014年12月6日（土）・7日（日）
2. 会 場            南山大学D棟 名古屋市昭和区山里町18番地
3. 参加費           両日参加：4,000円、一日のみ参加：3,000円  
                      【学部生割引】 両日参加：2,000円、一日のみ参加：1,500円

## 4. 発表の形式

本大会の発表形式は、「エクササイズ・セッション」、「レポート・セッション」の2種類となります。これらは、体験学習の実践と研究の発表の場であるとともに、フィードバックやディスカッションを通じて、発表者と参加者がともに学びを深める場でもあります。

### 〈エクササイズ・セッション〉 実習実施を伴った発表   【3時間】

体験学習のオリジナルな実習やプログラムをわかりやすく紹介していただくために、実際に実習を実施していただきます。その後フィードバックタイムが設けられます。1セッションは、3時間（ふりかえりを含む実習の実施120分以内・フィードバックタイム60分以上を厳守）とします。

セッション会場には座長をおき、フィードバックタイムがより深まるよう工夫していきます。発表者の方には、3時間の中に必ずフィードバックとディスカッションの時間を十分確保していただきますよう、お願い申し上げます。

### 〈レポート・セッション〉 口頭による実践報告・発表   【60分間】

1セッションは、60分間（発表30分・ディスカッション30分を厳守）とし、口頭による体験学習の実践や理論的考察などの発表を行っていただきます。できる限りディスカッションが充実するように意識しながら、発表をしていただきますよう、お願い申し上げます。

**発表・発表申し込み〆切：2014年8月22日（金）〈必着〉**

※全てのセッションは、相互学習を目的とした発表の場です。宣伝や教材等の販売を目的とした発表であることが明らかになった場合は、その時点で発表中止とさせていただきます。販売等が目的となる場合は、展示・協賛として、運営委員会事務局までお問い合わせください。

## 5. 発表希望者へのご案内

### (1) 発表要旨の提出

ご希望の発表形式ごとに、下記の項目にしたがった要旨をご提出ください。

#### ○エクササイズ・セッションでの発表を希望される方（A4・2枚）

##### 【発表要旨内容】

- (1) タイトル
- (2) 発表者（ふりがなも付与する）
- (3) 発表者の所属
- (4) キーワード
- (5) 発表の要旨（目的、プログラムの流れなど、できる限り具体的に記述）
- (6) ファシリテーターの動きや学習者への関わり方の留意点
- (7) 予想される学習者の気づき・学び・反応
- (8) 発表当日、参加者の方々に期待するフィードバック

#### ○レポート・セッションでの発表を希望される方（A4・1枚）

##### 【発表要旨内容】

- (1) タイトル
- (2) 発表者（ふりがなも付与する）
- (3) 発表者の所属
- (4) キーワード
- (5) 発表の要旨（目的・プログラム概要など、できる限り具体的に記述）
- (6) 発表当日、参加者の方々に期待すること

なお、発表要旨は、体験学習のプログラムやその様子、発表内容が明確にわかるように、できる限り詳細な記述をお願いいたします。発表申し込み後に事務局からお送りするフォーマットに従い、発表要旨を作成してください。

**【提出方法】** 上記の内容について、事務局から送られたフォーマットに入力したうえで、そのファイルを添付してEメールで事務局宛にお送りください。

**発表要旨原稿×切:2014年9月12日(金)<必着>**

### (2) 発表用資料の準備について

会場で当日配付される資料は、発表者ご自身で50部程度ご準備ください。

必要部数は、会場や参加者によって異なりますが、50部を超える場合もあります。発表会場で配布しきれなかった資料は、展示コーナーを設け、随時関心のある方に持ち帰っていただく予定です。

なお、配布資料の印刷・増刷は、大会事務局ではお断りさせていただいています（当日印刷をされる方は、各自、大学内の有料コピー機をご利用いただきますようお願いいたします）。

### (3) 発表のお申し込みについて

発表をご希望の方は、日本体験学習研究会の Web にリンクしてある「申し込みフォーム」(下記 URL) をダウンロードして、それに必要事項を記入の上、大会事務局宛てに Eメールの添付ファイルとしてご送付ください。発表の申し込み〆切は、2014 年 8 月 22 日(金)〈必着〉です。

**なお、参加のみ希望される方は、事前にお申込みいただく必要はありません。**

○発表申し込み〆切日:2014 年 8 月 22 日(金)〈必着〉

○発表要旨原稿〆切日:2014 年 9 月 12 日(金)〈必着〉

※〆切厳守をお願いいたします。

※発表者による発表日(曜日)の指定はお断りしております。

\*発表を希望される方には、その申し込みが確認でき次第、事務局より改めてご連絡申し上げ、詳細についてお知らせいたします。

\*皆様から提供いただいた個人情報は、本研究会に関するお知らせ以外の目的には使用いたしません。

このご案内は、過去の日本体験学習研究会にご参加いただいた方、あるいは本研究会の案内に対して【体験学習】に関心をもっているとご返信をいただいた方の名簿をもとにお送りしています。皆様方のお近くに【体験学習】に関心をおもちの方がいらっしゃいましたら、この第1号通信をどうぞ転送してください。また、連絡先(お名前、Eメールアドレス)を事務局にお知らせいただければ、本研究会の案内を今後 Eメールでお送りします。

本研究会の案内や通信は、今後出来る限り Eメールに切り替えていきたいと考えております。Eメールでの通信を希望される方は、その旨を下記メールアドレスまでご連絡ください。

## 多様な分野に活かせる 体験学習の可能性

多くの方のご参加を、運営委員一同、心よりお待ちしております！

2014 年 7 月 9 日

大会運営責任者 津村 俊充

大会事務局長 中村 和彦

日本体験学習研究会 事務局

南山大学 人文学部心理人間学科 中村研究室 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18 番地  
phone:052-832-3111(代表) 内線 3959(中村研究室) fax:052-832-3217  
Eメール:nittaiken-jimu@nanzan-u.ac.jp URL:http://www.nanzan-u.ac.jp/~tsumura/nittaiken/